

# サウ-デ教会女性部会報

2013年 4月 № 275

神は正しい者にむかい  
心の清い者にむかつて  
まことに恵みふかい



詩篇七十三篇一節

女性部のみことば

目次		ページ
●	巻頭言「悔改めと信仰」	2
●	特集	
	「救いのあかし」	
●	あかし	
●	荻谷糸子	4
●	石田喜子	5
●	倉内お玉	6
●	原田泰子	7
●	益本藤子	8
●	阿部みちえ	9
●	大園信子	10
●	宮谷テル子	11
●	栃沢千秋	12
●	小原知子	13
●	俳句	
●	詩	
●	集会案内	
	ポルトガル語教室	
	おはなし聞き隊	
●	おいしくけんこう／おためしあれ	14
●	報告	
●	お知らせ	
●	個人消息	
●	あとがき	18

## 巻頭言

### 「悔改めと信仰」

丹羽昭男 師

「神に対する悔改めと・・・主イエスに対する信仰」

使徒行伝二十章二十一節

#### 〔1〕序論

今回の会報は、「どのようにして救いの恵に与ったか」という各自の証が記されている。誰もが経験してきた救いの順序について見ていこう。



#### 〔2〕神に対する悔改め

##### ① 自分の本当の姿を知る

先ず知らされたことは、自分の本当の姿である。神の御前に出る時、一つ一つの罪が示された。行為において、言葉において、心の中において、なんと罪を犯してきたことか。さらにその罪の起ってくる源が示された。それこそ、神を離れ、神を抜きにして自己中心に生きていた自分である。

##### ② 神への悔改め

自分の罪ある姿を知った時、「神様、これまであなたのことを知らないで罪を犯してきた私をお赦し下さい」と、神に対して悔改めの祈りをした。

〔3〕主イエスに対する信仰

(1) キリストによる救い

次に知らされたことは、キリストによる救いである。キリストは神の独り子であられたが、私たち一人一人の罪のために身代わりとなつて十字架に死んでくださったこと。そして三日月に復活されて、今も生きておられること。ここに罪の赦しがあり、救いがあること。キリストこそ私の救主であることを知った。

(2) キリストを自分の救主として信じた。

そして、自分の心の中で「キリストは私の救主と信じます」と信じ、迎え入れた。その時、救いが私の中に実現した。罪が赦され、神の子とされ、新しい生涯が始まった。

〔4〕バプテスマ

(1) 信仰のしるし

キリストを信じた者は、その見える印としてバプテスマを受けた。神の御前と会衆の前において「キリストを信じていきます」と公に信仰告白をした。

(2) 教会に加入

バプテスマを受けた時、その教会の一員とされた。

他のクリスチャンの人たちと共に祈り、交わり、お互いの信仰を成長させつつ、教会を建てるために、各々が与えられた奉仕に励んでいる。

特集

救いのあかし

とくしゅう



信仰の道へ導かれた

きっかけから現在について、

お話をうかがいました

荻谷糸子姉

\*受洗日1958/11/15

\*先に、3人の子供たちが日曜学校へ

\*そして、娘の友達のお母さんに誘われ

夕拝へ

\*その頃、姑とうまくいかず、神様におすがりしたい気持ちになっていた

\*次第に自分の罪が明確になってゆき、3年後

心から神様に従いたいと決意し、洗礼を受ける

\*すると、いつもイヤな気持ちを抱いていた

姑に対し、「心から愛しましょう」とい

う思いに変えられ、感謝があふれてきた

\*長男の嫁としてさまさまに強いられ、若き

日々は涙の出ない日はないほどだったが、

姑と出会ったからこそ、神様にお会いでき

たのだと、救われてから今なお感謝し続けている

\*姑も最期は、実の娘以上に私に信頼をよせ、とても優しくなっていた

現在では、

\*第一に祈る。とにかく祈る。一日中、何をすることも神様にすがり、おゆだねしている  
\*日誌に祈りの内容を付けている

＊平凡な毎日を祈りながら過(す)せることに

感謝

＊毎週水曜の聖研祈祷会には、つとめて出席している

祈りの課題

＊最期まで信仰を持って祈り続けられるように



「教会でみなさんにお会いするのが楽しみ」と  
荻谷姉。思い出した方や、気にかかることはすぐにお  
祈りするそう。それは、神様がすべて解決してく  
ださることを確信しているから」だと言。数々の  
苦難にあつてこそ、神様を知り、祈りに学び感謝し、  
さらに堅く信仰に立てると証された荻谷姉に、  
信仰はいつも『今』であることを  
教えられる。



おかげで、みなさんとも仲良くなれて、教会  
生活を楽しんでいる



＊神様から、家族への正しい導きがあるように



石田姉は、カトリック系の学校へ通っていたころに  
洗礼を受けている。しかしその後、戦争や結婚など  
で教会からは何十年も遠のいていた。晩年は、大き  
な宗教行事のときだけ教会へ訪れるようには  
なつたが、ポルトガル語のメッセージに物足りなさを  
感じていたという。そんな折、美香師と出会い、手芸  
に誘われ来たサウデー教会に交わりの楽しみを感じ、  
自然に礼拝へと導かれた。そこで聞いた先生方  
のメッセージが心をぐくと捉えた。「洗礼を受け、  
心が決まった」と語る石田姉の目に、ゆるがない土台  
に立っているという、平安と強さを感じました。



石田喜子姉 ＊受洗日 2006/8/6

＊水中運動をしていたプールで、美香師と  
出会い、現在の「むつみ会」へ招かれた

＊それから間もなく、礼拝へ続けて出席

＊先生方のメッセージを聞いて、心が変えら  
れるほどに素晴らしいと感動した

＊信仰について、ボヤボヤしてはいられないと  
思い、真剣に向き合うため受洗する

＊受洗後すぐに、救われている実感がわいてき  
て、「クリスチャンとして生きる」という心  
が決まった

現在では、

＊年老いて、天国へ希望がもてるようになり、  
毎日が喜びいっぱいになった

＊聖書を毎朝読み、朝晩祈る

＊集会には、なるべく参加するように心がけ、



倉内お玉姉 ＊受洗日 1969/11/5

＊同居していたクリスチャンの 姑 に、強く  
勧められ、仕方なく牧師の話を聞きに行く

＊「悔い改め」について、牧師より教えられ  
るが神様を信じる気持ちにはなれず、教会  
へあまり行かなかつた

＊半年後、信仰もあやふやなままに受洗

＊だがそれからは、自然に礼拝で聞く御言葉に  
導かれていく

＊すべては神様の御業であると分かり、神様が  
信じられるようになり、数々の恵を感じた

現在では、

＊丹羽師による我家の家庭集会で主人が導  
かれ、共に健康で幸せに暮らせて感謝

＊趣味の花いじりと読書で時が経つのを忘れ  
るくらい、何事にも平安をいただいている

## 祈りの課題

\*教会を離れてしまった主人の妹にも、神様のあわれみが届いてくださるように

◇  
「最初は、嫁としての責任を果たすつもりで洗礼を受けた。姑がとても喜んでくれたので、それだけで十分だと思っていた。でも、このような者さえも神様はあわれみによって、少しずつ信仰について真剣に向き合えるようにしてくださいました」と、深々と感謝する倉内姉。当時は、心身ともに健康。家庭もそれなりに平和だったおかげで、神様に頼ろうとは全く考えてはいなかったそうだ。したがって受洗の感動もなく、「お恥ずかしい」と言いつつも、「主は言われた、『わたしは恵ももとする者を恵み、あわれももとする者をあわれむ。』の御言葉が、自身の上に起きている恵を強く証しされた。

教会で洗礼を受けました。主人はすでに天国へ召されましたが、それまでは喜んで礼拝にきていました。現在では、次男夫婦とふたりの孫、また姉もこのサウーデ教会に喜んで通っています。なによりの幸せです。

さらに、いつでもお祈りが出来るということは、なんとも喜ばしいことです。小さな孫が、いつも神様にお祈りをする姿を見てみると、とてもうれしく思えます。お祈りは、いつもすぐに応えられるとは限りませんが、神様はいつも私の為にもっと善いことをしてくださいと心から信じています。

本当に恵まれた毎日を送らせてくださるイエス様に心から感謝をしています。



## あかし

### 救われて

原田 泰子

私は子供のころから、父がクリスチャンだったので、神様のことやイエス様のごことは、いつもよく聞かされてきました。けれども、本当のクリスチャンとしての歩みはしていませんでした。結婚し、子供が生まれて、今度は自分が教えていかなければならなくなったとき、子供のころから父が話してくれていたクリスチャンとしての教えを思い出し、子供を教会に連れて行きたくなりました。そこで、家の近くにあったサウーデ教会にお世話になりました。その後、私は二〇〇六年に丹羽先生により洗礼を受け、今では本当のクリスチャンとして励んでいます。四人の子供たちもみな、このサウーデ

### みことばによって

藤子 益本

彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え、まだ語りかけている間に、聞き届ける。

イザヤ 六十五章二十四節  
(新共同訳)

先づ毎朝のデボーション。わずかの時間ですが、みことばを読みます。これまで導きをくださいました神様にお礼申し上げます。そして、熱心に長年ご指導くださっている丹羽先生と美香先生、さらに役員の方々、信徒のお友達にも感謝いたします。

今日この箇所のみことばによって、最善の解決方法を準備していただくことに気づかされ、特別に胸をうたれました。その瞬間に「救われた」という気分になり、それが一日続きました。この老いた小さき私ですが、イエス・キリストを信じ祝福を



受けて「感謝いたします」と何度も打ち崩されました。イエス様は、信仰者に目を注いで、私たちの不安を取り除き、その計り知れない大きな助けによって、喜びと信頼感で満たしてくださいませ。

あなたに信頼する者は、なんと幸いです。私もあなたの恵みに連なり感謝に溢れます。

・夕暮れ残暑庭にシヤフワリース  
なぐさむる竹筒より水の音



阿部 みちえ

### きょう たびし 今日までの旅路

私の母は、日本で教会に行っていました。その後、結婚しての生活が始まりました。当時ブラジルの学校では「どの宗教に属しているのか」が問わ

のメンバーに入れていただきました。ジアドーマ日本語部はなくなりましたが、一日も早く当教会に馴染みたいと集会に励んでいます。



### さま イエス様にすがって

おおその のぶこ 大園 信子

私が十六・七歳くらいのとき、マリリアから清水先生と奥様の長枝先生が、バスで私たちの住んでいるパウリスタ植民地に連れて来られて日曜学校を始められました。そこへ行く

まで私はイエス様の事を全然知りませんでした。清水先生がリンスへ行かれる前年のナタールには、『バラバ帰る』という劇を五人くらいでしました。私はバラバの役で一番長いセリフでした。一回目は村でやり、ナタールの日はマリリア会館で、三回目はロザリアという町でしました。でも、イエス様を信じる

れていました。私はそのような事情から十一歳の時に聖公会の教会に行くようになりました。やがて田舎では勉強ができない(上の学校がないので)という理由で、サンパウロに出て住み、大学へ通いました。しかし、そのころは教会から遠ざかった生活でした。何年か経って、スポーツ・クラブに行くようになりました。そこには阿部和夫・カルメン夫妻がいました。夫妻にもう一度、教会に誘われ、ジアドーマ教会に出席するようになり、昨年までジアドーマ教会員として信仰に励みました。私の夫は阿部和夫兄の兄に当たりますが、四十六歳の若さで召されていきました。しかし、その後も子供たちを育てながら生活し、子供たちも大学を卒業し家庭を持ちました。そして今では、息子も孫たちもジアドーマ教会に喜んで出席しているし、私は今年からジアドーマ日本語部の教友十二名と共に、サウデー教会日本語部

気持ちにはまだなれませんでした。その後、作間先生が来られるようになってから、家の土地の谷間にある小さな滝に、父が掘って小さな池を作り、そこで何人かの友人たちが洗礼を受けることになりました。父は、「お前は洗礼が何か知っているか？知らないなら受けない方がよい」と言ったので、私は受けませんでした。

それから何年か経って、子供二人と主人の四人でサンパウロに出て、ピラポリンニヤに住みました。その間、何回か作間先生が我が家に連れて来られて聖書の話をしてくださいました。その後、ジアドーマに土地を買い家を建て引越しました。すると、私が求めたのではないのに、神様は私の住むジアドーマに清水先生を送ってくださいだったので。ほどなくジアドーマ教会いへ通うようになった一九七七年十二月四日に清水先生から、白井信子姉と一緒に洗礼を受けました。

その頃から信仰はちつとも進行しませんが、イエス様にすがりついて教会に行けることを感謝しております。ハレルヤ！



### 祈りの力

ニル子  
宮谷

主の御名をあがめます。待ちに待ったメキシコのカンクン（メキシコ南東部の観光都市）への旅行も、明日と迫り、家族はみな喜んでいました。私と次女、四女夫婦とその子供たちの六人の旅。私はその日、一日中働いて夜に帰宅しましたが、上の孫の純が「頭が痛い。首が痛い」と言っており、これはいつもの風邪とは様子が違うので、すぐに病院へ行きました。医者には、「軽い脳膜炎なので無理しない旅行なら良い」と言われ、それを信じて出発しました。行く途中

も、純は「痛い、痛い」と言い、薬を飲み飲み行きました。次の日には良くなるはずが悪くなり、医者にホテルまで来て診てもらったら、「すぐに入院しないといけない」と言われ、その日のうちに入院しました。私はこれまで、神様を信じて色々な苦難の道を歩いて来ました。（なのにとどろいて天のお父様、純は一年も待つて待つてようやく楽しんでいました。カンクンまで来たのに、見ることも海に入ることも出来ないのですか？）と、残念で涙を流しながら海に向かつて祈っていたら、丹羽先生と美香先生の顔が浮かび、「祈っているよ」と、まるで傍にいてくださるようでした。また、教会の皆様からも「祈っているよ」と言っていたことを思い出し、（そう、私は独りではない。皆様が祈ってくれている）そう、天のお父様からも力と勇気を与えてもらいました。三日後、「もう大丈夫。帰っても良い」との

ことで、ホテルで二日休み、その後海に入ることが出来ました。医者の言うことには、脳膜炎でとても危なかったようですが、純は神様に守られ助かり、無事にサンパウロにも帰って来れました。そして、毎日元気で学校へ行っています。私も、感謝の日々を送っています。

私は今回のことで、今まで教会の人達が旅行をされる時、祈っていたらどうか？と反省させられました。これからはもつと祈らなければと思いました。先生方、教会の皆様、お祈り本当にありがとうございます。私達家族のためにお祈りくださるようお願いいたします。

詩篇 五十篇十五節

悩みの日にわたしを呼べ、  
わたしはあなたを助け、  
あなたはわたしをあがめるであろう。



### 俳はいく句

栃沢 千秋

#### 「復活祭」

- 受難の日みくるしみ忍び徹夜聖会
- 受難日や肉断ち庶民つつしめり
- 復活祭さんびのオルガン街路まで
- おごそかな聖餐儀式の復活祭
- うるわしや洗礼うけし復活祭
- 愛の負債払ひきれずにはや四月
- 生かされておる 幸や老の秋

「幼子のごとく」

小原 知子

キリスト者たるもの  
迷わず、寂しがらず  
主が共にいてくださるのだから  
と、思いを閉ざす

二歳の息子

「ママ、だいつクライ。だつこして〜。」

開け放った戸棚に向かい、吠える

はずみで落ちた

大好物のチョコレート

「いえしゅさま、ありがと。あーめん！」

開けてみるか 見習って  
落ちてくるかな？  
主の恵み

「ありがと〜」

沼田誠・阿部翰一郎

ありがと〜 すばらしいめぐみを  
ありがと〜 とこしえのいのちを  
いつもともに いてくださる  
すばらしい イエスさま

ありがと〜 すばらしいちしおを  
ありがと〜 とこしえのあがない  
いつもともに いてくださる  
すばらしい イエスさま

ありがと〜 すばらしい いやしを  
ありがと〜 とこしえの ひかりを  
いつもともに いてくださる  
すばらしい イエスさま

ありがと〜 すばらしい じゆうを  
ありがと〜 とこしえの やすきを  
いつもともに いてくださる  
すばらしい イエスさま



聖研祈禱会で

うたっています

集 会 案 内

あたらしく

はじまりました

ポルトガル語教室

責任者／阿部カルメン師

第1・3木曜 午後2時より

2月21日より開かれた当教室には、15名ほど  
が集っています。会話を基本とした内容で初心者  
の方にも分かりやすく好評です。年齢は問わず、90  
歳以上の方もいて、交わりを通し孤立しやすい世代  
をつなぐ架け橋になれたらと願っています。さらに大  
きな目的として、ジアデーマより転会された姉妹方が  
中心となって、伝道の働きが成されています。サ  
ウデー教会はメトロに近く、周辺には日本人が多  
く住んでいるという好い条件があります。それらを  
生かし、地域に根付いた伝道ができたと思います。  
お申し込みは常に受け付けています。どなたでも(教



会員以外の方歓迎します。お気軽にお越しください。

### おはなし聞き隊

責任者／丹羽美香師

月2回 木曜 午後より

礼拝に何らかの理由で出席できなくなった高齢者の方々を少人数でお訪ねしています。《たった一人でも大事な方》そんな思いを携えて、まずはお話をじっくり聞いてさしあげることが心を心がけています。そして、ふさわしいみ言葉をお伝えし、なぐさめ励まし、共に賛美します。そんな交わりによって、少しでも寂しさや思い、煩いを軽くしてくださればと願っています。そして、神様と周りの人達へ「ありがとうございます」と心から感謝できる日々を過ごしていただき、また、天国への希望と喜びを持って、最期の瞬間を迎えていただけるように、これからも神様のご愛をお運びしていきます。



### ◇聖研会

／日曜 朝9時半

### ◇信徒養成講座

／日曜 礼拝後

テキスト「ヨハネの福音書の学び・第1集」

### ◇聖研祈禱会

／水曜 午後2時

丹羽師「テキスト「ローマ書・第3集」

美香師「雅歌」

### ◇早朝祈禱会

／土曜 朝7時

### ◇家庭集会

／火曜 午後2時

美香師「マルコの福音書」

美香師「伝道の書」

### ◇エンブーラ教会

／第1日曜 午後1時



丹羽師「創世記」

### ◇たんぽぽ会&昼食会

／第1日曜 午後1時半

### ◇子ども会

／第1日曜 朝10時半

### ◇むつみ会

／第4火曜 午後2時



おいしく けんこう



## ブロッコリーでがん予防!

- \*ビタミンCが豊富で、ほかの栄養バランスもととてもよい野菜
- \*体内の免疫力、抵抗力を強くして、効果的にがんを予防できる
- \*成分のスルフォラファンには、発がん物質を解毒する作用あり

◎◎ えらびかた ◎◎

- \*つぼみがみっしりと隙間なく集まり、丸く高く盛り上がっているものが新鮮
- \*色は少し紫色がかかったものが良い
- よく日光を受けて育った証拠なので、甘みも濃くおいしい

◎◎ たべかた ◎◎

- \*ゆでて食べるのが、いちばん!
- \*茎の部分にも栄養があるので、上手に調理して食べましょう





報告 ほろろく

\*元旦礼拝 (連盟主催)  
1月1日 午前10時

サウーデ教会にて  
ご用者/湯浅敬師 (ホーリネス教会)

\*新年聖会 (伝道局主催)  
1月6日 午後2時

サウーデ教会にて  
ご用者/天川清彦師

第2部 あかし会/各教会より

\*希望の家 支援奉仕 スタッフ18名  
2月2日 午前7時

当教会厨房にて  
ちらし寿司100人分と、パステス250個

ほか、支援金として1000レアル

(有志ならびに女性部の通常会計から)

衣類、日用品、歩行機、車イス、トイレット

ペーパー、要望のあった紙オムツも多くお届けで

きました

\*アシラム・ブラジル  
2月8日・9日 午前9時

サウーデ教会にて  
講師/榎本恵師

\*世界祈祷日 (連盟婦人部主催)  
3月1日 午後1時半

ホーリネス・リベルダデ教会にて  
ご用者/大山省三師

\*天川清彦師記念会  
3月10日 午後3時

サウーデ教会ボ語会堂にて  
ご用者/丹羽美香師

\*中高年の集い (連盟婦人部主催)  
3月16日 午前9時

エンブーラ教会にて  
ご用者/大山師・大嶋師・長田師・小野田

\*受難週聖会  
3月28日・29日

エンブーラ教会にて



おためしあれ!



電子レンジの汚れ取り



ついつい、掃除し忘れてしまうレンジの中  
気づくと、汚れがこびり付いている…

そんな時は、

- 1、耐熱容器 (チンと加熱しても割れない器) に  
水を張って、チン!と加熱します  
⇒レンジの中を蒸気の湯気でムンムンにします
- 2、しばらく冷めるまで待ちましょう  
蒸気が汚れをやわらかくしてくれます
- 3、ぬれた布巾で拭き取ってください

やけどにはご注意ください!

\*しつこい油 汚れにはレモン汁を水にまぜ、チン!  
さらに効果があります



みなさんの「くらしの知恵」をおよせください

＊連合女性会例会

3月31日 午後2時～ サウデー教会にて  
第1部 ご用者／国広綾美師  
第2部 あかし会／各教会女性部より  
当女性会より原田泰子姉が証しされました

＊聖餐式

2月3日・3月31日

＊受け入れ式

2月3日 ジアデーマ教会より転会された方々  
阿部みちえ姉・大園春二兄・信子姉・加納信子姉  
たかだのぶこあね たこいけいこあね とちびわちあきけい  
高田信子姉・蛸井恵子姉・柝沢千秋兄  
みずがみ  
水上テレーザ姉・山内盛宏兄・千代姉

(あいうえお順)

3月31日

謝敷スエリー姉

＊洗礼式

3月31日

謝敷宗光兄



お知らせ

5月30日 連合女性会 一日研修会

(木曜祝日) 午前9時～午後4時まで

講師／神野信治師 (ホーリネス・ニテロイ教会)

＊受付は、8時半より

＊会費20レアル／受付にて当日払い

＊申し込み締め切りは、5月19日(日曜)

土屋礼子姉までお願いします



個人消息

＊浅井津哉子姉が、4月に足を骨折され静養中

＊作間栄子姉も弱さを覚えて静養中です

各奉仕部責任者

顧問

丹羽美香

(敬称略)

責任者

長谷川美代枝

会計

吉加江紀子／宮谷テル子

書記

小原知子

女性部会報

吉加江紀子／小原知子／(丹羽美香)

伝道奉仕

誕生日カード

週報発送

訪問・電話

藤木耐子

電波・トラクト

小原知子

マルタ部

食事準備

原田泰子／吉加江紀子

コーヒー準備

中山輝子

活花

山田初子

賛美

中山輝子

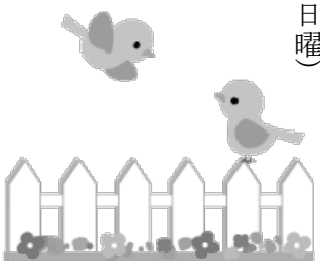
ほか部員

松井明子／向高悦子／土屋礼子



美香師は、昨年に引き続き、あけぼの教会へ  
ご用に行かれます (第3日曜)

あとがき



本年度より、新しい編集委員で、新しい試みをもつて当たらせていただきました。ますます、読みやすく、用いていただける紙面をめざし奉仕させていただきます。ぜひ皆様の感想や意見を聞かせください。

なお、次号も引き続き、〈特集・救いのあかし〉を掲載します。どうぞ、ご協力をよろしく願っています。